

## 出生率と労働の関係分析

平成27年2月

三重県戦略企画部統計課

各種統計指標による少子化の要因分析については、平成25年8月のレポートで考察したところですが、その中で、合計特殊出生率が女性の未婚率及び有配偶出生率との間で非常に強い相関があること、女性の未婚率が労働関係のいくつかの指標と関係が強いこと等を解説しました。

今回のレポートでは、女性の未婚率と労働関係指標の相関について、さらに踏み込んだ分析を行いました。

### 1 未婚率（女）及び有配偶出生率と労働関係指標の関係分析

2000年及び2010年の都道府県データに基づき、未婚率（女）及び有配偶出生率と主な労働関係指標との相関係数を算出したものが、次の表です。

※相関係数とは、2種類のデータの関連性の強さを図る指標の一つで、+が正の相関、-が負の相関となります。±1に近いほど相関が強く、目安としては±0.5以上で相関があり、±0.7以上で強い相関があると考えられます。

【表 1】 未婚率（女）及び有配偶出生率と主な労働関係指標の相関係数  
(2000年及び2010年国勢調査等都道府県データに基づき算出)

	未婚率(女)との相関		有配偶出生率との相関	
	2000年	2010年	2000年	2010年
共働き世帯割合(対一般世帯)	-0.821	-0.836	-0.270	-0.224
共働き世帯割合(対夫婦世帯)	-0.743	-0.709	-0.224	-0.079
高等学校卒業者就職率(男)	-0.723	-0.530	-0.323	0.103
高等学校卒業者就職率(女)	-0.685	-0.561	-0.303	0.053
学歴が大学・大学院卒の割合(男)	0.773	0.515	0.148	-0.150
学歴が大学・大学院卒の割合(女)	0.762	0.576	0.177	-0.098
15歳以上就業者数	0.757	0.616	0.065	-0.132
就業率(20-49歳男)	-0.726	-0.681	-0.474	-0.349
就業率(20-49歳女)	-0.694	-0.597	-0.246	-0.030
労働力人口比率(男)	-0.225	-0.601	-0.114	-0.193
労働力人口比率(女)	-0.488	-0.550	-0.044	0.061
通学者比率(20~49歳)	0.862	0.821	0.194	0.035
第1次産業就業者比率	-0.622	-0.386	-0.224	0.111
第2次産業就業者比率	-0.433	-0.632	-0.198	-0.423
第3次産業就業者比率	0.822	0.868	0.335	0.334
非正規労働者割合(対有業者)(男) <sup>※1</sup>	0.710	0.605	0.414	0.279
非正規労働者割合(対有業者)(女) <sup>※1</sup>	0.629	0.323	0.207	-0.019
完全失業率(男)	0.404	0.287	0.570	0.436
完全失業率(女)	0.551	0.503	0.556	0.383
月間平均実労働時間数(男)	-0.388	-0.377	0.026	0.133
月間平均実労働時間数(女)	-0.708	-0.308	-0.109	-0.066
週間就業時間が60時間以上の割合(男 25-39歳) <sup>※2</sup>	0.728	0.661	0.012	-0.045
週間就業時間が40~48時間の割合(男 25-39歳) <sup>※2</sup>	-0.781	-0.710	-0.037	0.055
週間就業時間が60時間以上の割合(女 25-39歳) <sup>※2</sup>	0.602	0.641	0.001	0.059
週間就業時間が40~48時間の割合(女 25-39歳) <sup>※2</sup>	-0.564	-0.508	-0.085	0.025
週間就業時間が35~39時間の割合(女 25-39歳) <sup>※2</sup>	0.793	0.744	0.078	-0.044
きまって支給する現金給与月額(男)	0.627	0.386	0.010	-0.321
きまって支給する現金給与月額(女)	0.773	0.551	0.101	-0.240
高等学校新規卒業者初任給(男)	0.364	0.112	-0.195	-0.489
高等学校新規卒業者初任給(女)	0.396	0.206	-0.162	-0.420

※1) 国勢調査年の統計がないため直近の調査年データによる。

※2) 2010年のデータがないため、2010年は2005年値

◆ 労働関係指標の多くで未婚率（女）との相関が強いが、有配偶出生率と相関があるものはほとんどない。

## 2 未婚率（女）と就業率の関係

未婚率（女）と相関が強い労働関係指標のうち、就業率との相関をみたのが次の図表です。

なお、通学者比率が高い都道府県は当然未婚率が高いと考えられるため、通学者を除いた就業率でも相関係数を計算しています。（以下各章で同じ。）

【表 2】 未婚率（20-49 歳女）と就業率の相関係数（2000 年及び 2010 年国勢調査都道府県データに基づき算出）

※（ ）は通学者を除く値

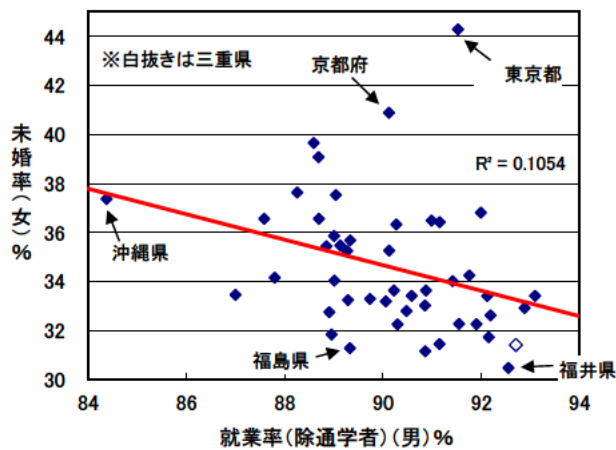
	2000 年		2010 年		増加率	
就業率（20-49 歳男）	-0.726	(-0.350)	-0.681	(-0.325)	-0.715	(-0.632)
就業率（20-49 歳女）	-0.694	(-0.658)	-0.597	(-0.543)	-0.568	(-0.540)

【表 3】 未婚率（20-49 歳女）と通学者比率の相関係数

	2000 年	2010 年
通学者比率（20~49 歳）	0.862	0.821

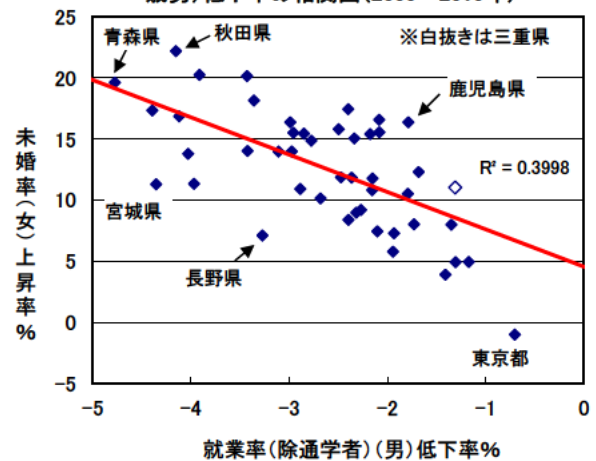
【図 1】

未婚率（20-49 歳女）と就業率（通学者除く）（20-49 歳男）の相関図（2010 年）



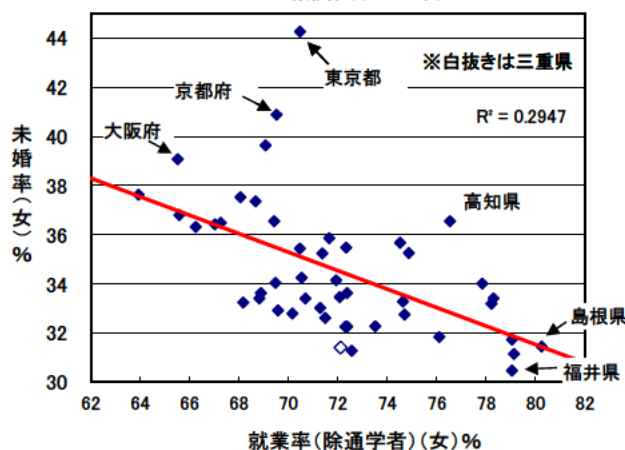
【図 2】

未婚率（20-49 歳女）上昇率と就業率（通学者除く）（20-49 歳男）低下率の相関図（2000~2010 年）



【図 3】

未婚率（20-49 歳女）と就業率（通学者除く）（20-49 歳女）の相関図（2010 年）



- ◆ 未婚率（女）と就業率（男）は負の相関が強いが、通学者を除くと相関は弱い。通学者比率と未婚率（女）は強い相関があることから、就業率（男）は通学者比率に影響を受けて未婚率（女）との相関が高まっていることになる。
- ◆ ただし、未婚率（女）の上昇率と就業率（男）の低下率は、通学者を除いてもある程度強い負の相関がみられることから、就業率（男）の低下が未婚率（女）の上昇に関係があると考えられる。
- ◆ 就業率（女）は通学者を除いても、未婚率（女）と負の相関が認められる。

### 3 未婚率（女）と女性の年齢階層別にみた就業率の関係

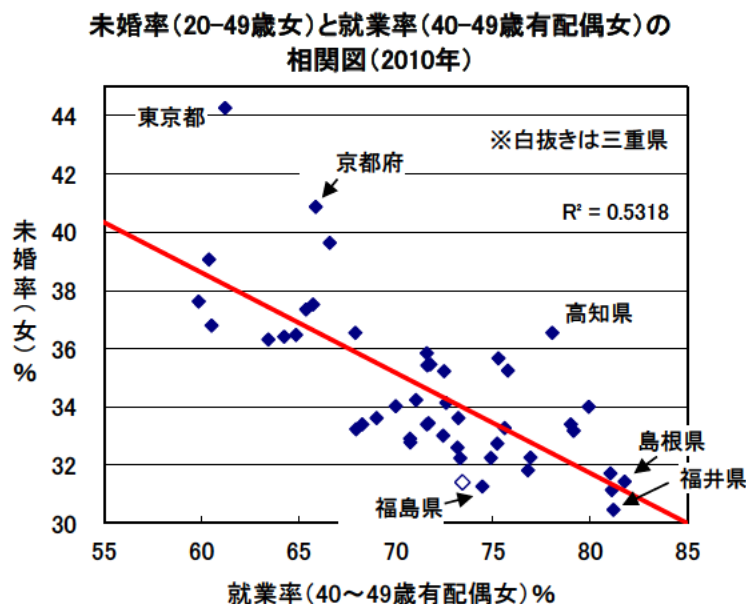
未婚率（女）と女性の就業率の関係について、女性の全体及び有配偶者の年齢階層別に相関をみたのが次の図表です。

【表 4】 未婚率（20-49 歳女）と年齢階層別就業率（女）の相関係数（2010 年国勢調査都道府県データに基づき算出）

※（ ）は通学者を除く値

	女・総数		女・有配偶者
就業率（女）			
15～19 歳	0.426	(-0.634)	-0.230
20～24 歳	-0.759	(-0.239)	-0.451
25～29 歳	-0.156	(-0.067)	-0.366
30～34 歳	-0.336	(-0.324)	-0.467
35～39 歳	-0.550	(-0.546)	-0.620
40～49 歳	-0.681	(-0.680)	-0.729

【図 4】



- ◆ 女総数では20～24歳の女性就業率が未婚率（女）との負の相関が最も強いが、通学者を除くとほとんど相関はない。
- ◆ 有配偶の女性では、40～49歳の就業率が未婚率（女）との負の相関が強く、将来的に女性が安心して働ける都道府県であることが、未婚率の低さに関係していると考えられる。
- ◆ 三重県は全国的に見れば、40-49歳有配偶女性の就業率がそれ程高くない割には、未婚率（女）がトップクラスに低い県となっている。

#### 4 未婚率（女）と産業3分類別就業者比率の関係

未婚率(女)及び就業率(男)と、産業3分類別就業者比率(男女計)の相関をみたのが次の図表です。

【表 5】 未婚率(20-49 歳女)、就業率(20-49 歳男)と産業3分類別就業者比率(男女計)の相関係数  
(2010 年国勢調査都道府県データに基づき算出)

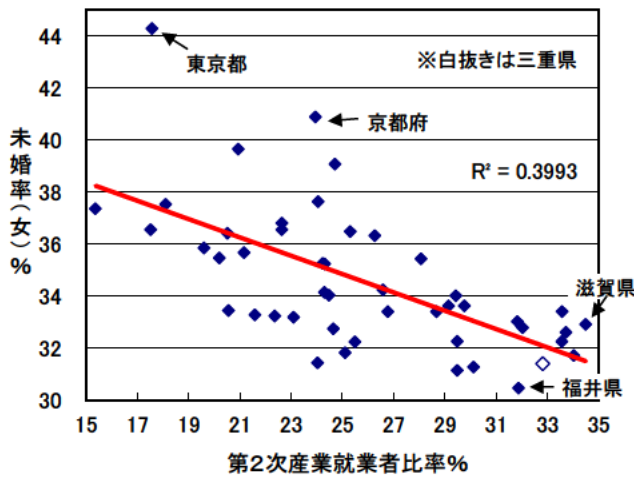
※( )は通学者を除く値

	未婚率(20-49 歳女) との相関	就業率(20-49 歳男) との相関
第1次産業就業者比率	-0.386 (-0.384)	-0.077
第2次産業就業者比率	<b>-0.632 (-0.615)</b>	<b>0.740</b>
第3次産業就業者比率	<b>0.868 (0.863)</b>	<b>-0.663</b>

※通学者(通学のかたわら仕事)の第3次産業従業者比率は97.9%(全国値)

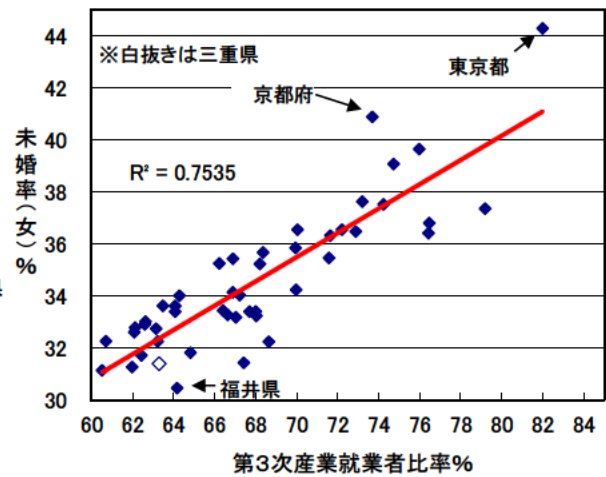
【図 5】

未婚率(20-49女)と第2次産業就業者比率の相関図  
(2010年)



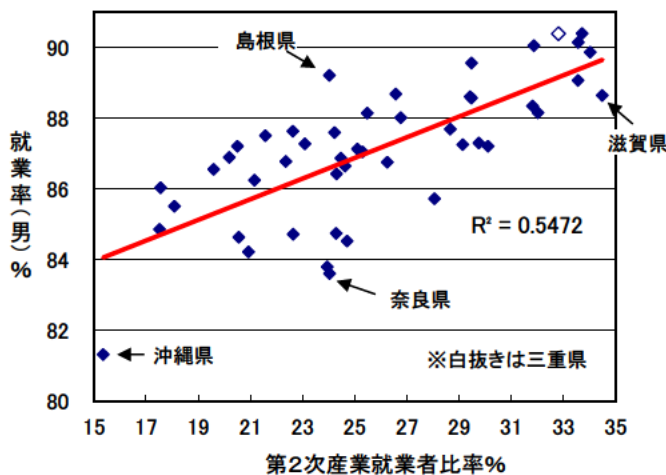
【図 6】

未婚率(20-49女)と第3次産業就業者比率の相関図  
(2010年)



【図 7】

就業率(20-49男)と第2次産業就業者比率の相関図  
(2010年)



- ◆ 未婚率(女)と第2次産業就業者比率とは負の相関が、第3次産業就業者比率とは強い正の相関がみられる(通学者を除いても同じ傾向)。
- ◆ 就業率(男)と第2次産業就業者比率の間にも強い相関がみられ、三重県(滋賀県)の就業率(男)の高さは第2次産業就業者比率が高いことと関係が強い。



## 5 未婚率（女）と非正規労働者割合（男）の関係

未婚率(女)と、非正規労働者割合(男)の相関をみたのが次の表です。

【表 6】 未婚率(20-49 歳女)と非正規労働者割合(対有業者)の相関係数

(2010 年国勢調査、2012 年就業構造基本調査の都道府県データに基づき算出)

	未婚率(20-49 歳女)との相関 ※( ): 卒業者(通学者以外)	
非正規労働者割合(男)	0.605	(0.460)
うち、パート・アルバイト割合(男)	0.718	(0.541)
うち、パート・アルバイト除く非正規割合(男)	0.233	(0.268)

※同一年のデータがないため、未婚率(女)は 2010 年国勢調査、非正規労働者割合は 2012 年就業構造基本調査結果の都道府県データに基づき算出。

- ◆ 未婚率(女)と男性のパート・アルバイト割合とは強い相関がみられるが、通学者を除くと、相関はあるがそれ程強くない。
- ◆ 未婚率(女)とパート・アルバイトを除く非正規労働者(派遣社員、契約社員、嘱託等)割合とは相関がみられない。

## 6 未婚率（女）、有配偶出生率と共働き世帯割合の関係

未婚率(女)及び有配偶出生率と、夫婦世帯に対する共働き世帯割合の相関をみたのが次の図表です。

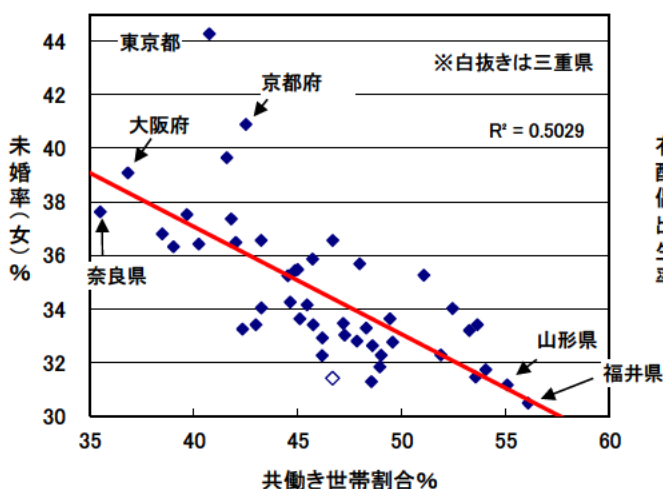
【表 7】 未婚率(20-49 歳女)、有配偶出生率と共働き世帯割合(対夫婦世帯)の相関係数

(2010 年国勢調査都道府県データに基づき算出)

	未婚率(20-49 歳女) との相関	有配偶出生率 との相関
共働き世帯割合(対夫婦世帯)	-0.709	-0.079

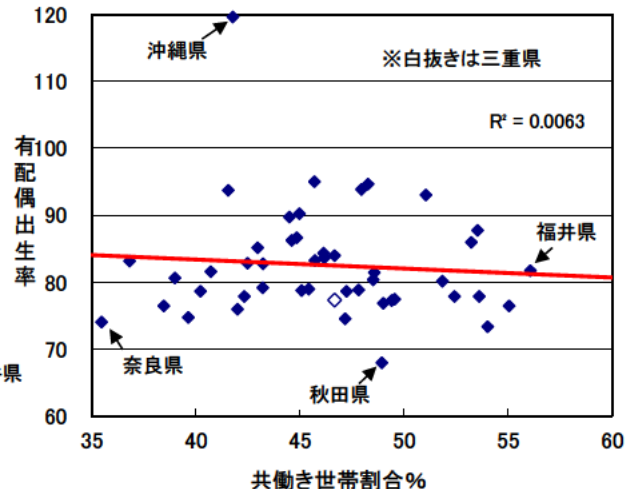
【図 8】

未婚率(20-49歳女)と共働き世帯割合(対夫婦世帯)の相関図(2010年)



【図 9】

有配偶出生率と共働き世帯割合(対夫婦世帯)の相関図(2010年)



- ◆ 未婚率(女)と夫婦世帯における共働き世帯割合とは強い負の相関があり、共働き世帯割合が高い都道府県ほど未婚率(女)が低い。
- ◆ 三重県は共働き世帯割合がそれ程高くない割には、未婚率(女)が低い県となっている。
- ◆ 有配偶出生率と共働き世帯割合とは相関がみられない。